

平成29年

12月定例会

第2次総合計画の基本構想決まる

あらまし

平成29年12月定例会は、11月29日から12月12日までの14日間の日程で開催されました。市長から議案31件（条例改正9件、条例廃止1件、市道の廃止1件、市道の認定1件、指定管理者の指定2件、総合計画基本構想の策定1件、渋川地区広域市町村圏振興整備組合の規約変更協議1件、補正予算15件）が提出され、条例改正3件及び補正予算7件を除く21議案について、それぞれ所管の常任委員会へ付託され審査を行いました。いずれの議案も原案のとおり可決されました。

市道の廃止と認定

廃止は高渋バイパス道路整備に伴う4路線、行幸田地区の林道中通線整備に伴う1路線、民間への払下げ2路線の計7路線。

認定は高渋バイパス道路整備に伴う6路線、北橋運動場整備に伴う1路線の計7路線。

全員一致で可決しました。

第2次渋川市総合計画基本構想の策定について

この計画は、市の将来像の実現に向けた取組姿勢として「次世代が安心して、誇りを持ち、暮らし、働けるまちづくり」としています。基本理念では「人・地域

・資源を、育む・結ぶ・創る」として、平成30年3月に策定する予定で進行しています。

全員一致で可決しました。

渋川地区広域市町村圏振興整備組合議員の削減

各市町村の厳しい財政状況を踏まえ、経費節減等のため、組合議員を削減するものです。

渋川市は11人から9人に削減されます。

全員一致で可決しました。

指定管理者の指定

小野上温泉センターほか2施設（小野上地区）とたちばなの郷城山ほか1施設

（北橋地区）について、それぞれ指定管理者を指定しました。

全員一致で可決しました。

渋川市体育施設の追加

小野上山村広場を、渋川市小野上スポーツ広場として、体育施設に追加するものです。

全員一致で可決しました。

渋川市複合福祉施設まっぼづくりの廃止

複合福祉施設まっぼづくり（渋川地区）を、建物の老朽化と耐震性の問題から、平成29年度末をもって廃止するものです。

全員一致で可決しました。

市営渋川駅前第3駐車場の料金値下げ

渋川市営駐車場条例を一部改正し、渋川駅前第3駐車場の24時間以内の駐車料金の限度額を、1000円から500円に引き下げます。

全員一致で可決しました。

道路占用料、法定外公共物使用料の改定

道路法施行令の一部改正に関連し、渋川市道路占用料徴収条例、渋川市法定外公共物の管理に関する条例の一部を改正するものです。この改正により、電柱や地下埋設物等にかかる道路占用料・施設使用料が改定されます。

全員一致で可決しました。

個別処理浄化槽の新設を中止

渋川市個別処理浄化槽条例を一部改正し、今後の個別処理浄化槽の新設を中止するものです。

全員一致で可決しました。



渋川駅前第3駐車場

常任委員会の審査

総務市民

第2次渋川市総合計画基本

構想の策定について

全会一致で可決しました。

主な質疑は次のとおりです。

質疑 地域文化振興の部分でもっと視野を広くしては。

答弁 市には上三原田の歌舞伎舞台などの文化財や、金井東裏遺跡を中心としたさまざまな遺跡があります。東国文化の発信、それらを絡めて推進したい。

質疑 この総合計画基本構想について、市長の考えは。

答弁 各地区の懇談会から出された意見、要望等が反映されていると思います。

質疑 総合計画により、がんにがらめに縛られては社会の動静に対応できないと思うが、どう考えるか。

答弁 総合計画は、ある意味、羅針盤のようなもので

あって、各事業はそれぞれ機動的、継続的に対応を考えています。

渋川市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例

国の法改正に伴い、育児休業を再取得・再延長できる事情に、保育施設の利用を希望するが入所できない場合を追加するものです。

また、非常勤職員の育児休業の期間を半年間延長するものです。

全会一致で可決しました。

質疑 市内の保育施設の入所状況はどうなっているのか。

答弁 渋川市においては、入所待ちの待機児童は発生していないと聞いています。

総務市民常任委員会協議会

市から次の事項について報告・説明がありました。

①平成30年度国民健康保険税標準保険料率等の仮算定結果

②平成30年度国民健康保険税の賦課方式

③第2期渋川市国民健康保険健康事業実施計画（テーマヘルス計画）（案）

④第3期渋川市国民健康保険特定健康診査等実施計画（案）



第1保育所

経済建設

公の施設の指定管理者の指定

市の公共施設の指定管理者を指定するものです。期間は平成30年4月1日から平成33年3月31日まで。

①「渋川市小野上温泉センター、渋川市小野上地域活性化センター、渋川市小野上温泉公園」

指定管理者 金井興業(株)
②「渋川市たちなの郷城山、渋川市北橋温泉ばんどうの湯」

指定管理者 (株)邦堂
全会一致で可決しました。

質疑 今回3年間の指定管理期間を終えて、また改めて3年間の指定管理をする。譲渡等の検討はしないのか。

答弁 観光施設等のあり方検討委員会の中で、いろいろな検討を行ってきました。早急に今後の方向性を示したいと考えます。

市道の廃止・認定

次の事項により市道の廃止・認定をするものです。

①高渋バイパス道路整備に伴う市道の付け替え（廃止4路線、認定6路線）

②林道中通線整備（廃止1路線）

③民間への払下げ（廃止2路線）

④北橋運動場の周辺道路整備に伴う道路用地への所管替え（認定1路線）。



高渋バイパス取付道路

渋川市営駐車場条例の一部を改正する条例

市営駐車場の利便性向上と利用促進のため、駐車場使用料を引き下げるものです。この改正により、渋川駅前第3駐車場の24時間までの駐車料金の限度額が1000円から500円に引下げになります。

全会一致で可決しました。
質疑 渋川駅前第3駐車場使用料の500円値下げによる効果の見込みは。

答弁 利用増についての試算はありません。収入面では利用者数が同じなら減収

※**パークアンドライド**：自動車を利用し、途中で電車やバスなどに乗り換えて目的地まで移動する方式。都市の中心部や観光地の交通混雑を緩和するために行われる。

になります。パークアンドライドという形で利用者が増えればと考えています。
質疑 渋川駅前第2・第3駐車場の収支は。
答弁 現段階では黒字になっています。この条例により利用料が値下げされても、利用者数が同じであれば、黒字になる見込みです。

- 経済建設常任委員会協議会**
 市から次の事項について報告・説明がありました。
- ① 第2次渋川市観光基本計画（案）
 - ② 中村緑地公園整備計画（案）
 - ③ 渋川市新水道ビジョン（案）
 - ④ 渋川市下水道事業経営戦略（案）

教育福祉

渋川市複合福祉施設まつぼっくり条例を廃止する条例
 複合福祉施設「まつぼっくり」（渋川地区）を建物の老朽化や耐震性の問題により廃止するものです。
 現在「まつぼっくり」内

には地域活動支援センター「いぶき」と渋川市中心障害者集団活動・訓練施設「わかば」があります。
 施設の廃止後、「いぶき」は同様の活動を行っている地域活動支援センター「かえでの園」（子持地区）に統合され、「わかば」は廃止されます。
 全会一致で可決しました。

質疑 「わかば」廃止の理由は。利用者がいらないのか。
答弁 利用者はいませんが、渋川地区広域圏内において民間事業者による同様のサービスが10カ所展開されており、利用者の受け皿が十分確保されていることから廃止します。

教育福祉常任委員会協議会
 市から次の事項について報告・説明を受け、協議しました。

- ① 第2期渋川市教育振興大綱（案）
- ② 第4期渋川市障害者計画（案）及び第5期渋川市障害福祉計画（第1期渋川市障害児福祉計画）（案）

予算

- ③ 渋川市高齢者福祉計画（老人福祉計画及び第7期介護保険事業計画）（案）
- ④ 健康プランしぶかわ21（第3期渋川市健康増進計画）（案）
- ⑤ 第2次渋川市生涯学習推進計画（案）

度協議します。
JR八木原駅周辺整備事業
質疑 全体の計画年数、事業予算は。
答弁 短期的整備と長期的整備で10年前後と考えています。
 事業費については概算ですが30億円程度を見込んでいます。

平成29年度一般会計補正予算及び国民健康保険特別会計ほか計8件の補正予算を審査し、全会一致で原案のとおり可決しました。
 主な質疑は次のとおりです。

鉄鋼スラグ対策事業費
質疑 今回、被覆処理する箇所は市の借地だが、将来にわたり市が土地を管理できない場合は撤去する方針になっているはず。方針に従い、今回は撤去すべきではないか。
答弁 地権者、関係機関には被覆することで了解を得ていますが、撤去も含め再

ころですが、都市計画の用途地域の再編と並行して進めます。
 駅周辺の早急な整備を目指します。



開発が期待される八木原駅周辺

質疑 多額の事業費を市が単独で負担するのは財政的に厳しいと思う。
 JR東日本にも費用負担してもらおうことになると思うが、協議はしているのか。
答弁 事業予算については国の有利な交付金を活用する考えです。
 JR東日本にも費用負担を求める予定ですが、具体的にはこれから協定を結び、協議します。
質疑 国から有利な支援を受けるには、まず立地適正化計画の策定が必要。社会状況も変わっていくので、もっとスピード感を持って取り組むべき。
答弁 現在、立地適正化計画に取り組んでいると

ちばなの郷城山等の指定管理
質疑 市の支出を伴う指定管理者制度は市のためになっているのか。財政対策として、ほかの方法も検討すべきはないか。
答弁 「渋川市観光施設等のあり方検討委員会」の結果報告に基づき、早急に市としての方針を決定し、指定管理料の縮減に向け調整を進めます。